

I 第四期山口県水産業試験研究基本計画の策定

1 趣 旨

水産研究センターは、平成12年度に策定した「第三期山口県水産業試験研究基本計画」に基づき、キジハタ種苗の量産化、カイガラアマノリの養殖実用化など、全国に先駆けた技術開発を行い、着実な成果を収めました。

本県の水産業は、漁業生産量の減少、漁業就業者の減少・高齢化、魚価の低迷など、依然として厳しい状況にあります。また、燃油価格の高止まり、近年の海水温の上昇に伴う漁場環境の変化や藻場の減少など、緊急に取り組むべきものもあり、これらの課題への適確な対応が必要になっています。

このため、本県農林水産業の再生・強化に向け平成25年10月に策定された「やまぐち農林水産業再生・強化行動計画」に基づき、「第四期山口県水産業試験研究基本計画」を策定し、水産業の再生・強化につながる試験研究を重点的に実施します。

2 計画期間

平成25年度(2013年)から平成28年度(2016年)までの4年間

3 第四期山口県水産業試験研究基本計画推進に当たっての基本的考え方

(1) 試験研究の重点化

本県の水産業の再生・強化を図るため、①「味な都・やまぐち」の推進、②需要に即した品目の生産拡大、③漁村資源の回復・増大を柱に試験研究の重点化に取り組みます。

これまでの研究成果を精査し、水産業の再生・強化に必要不可欠な試験研究を最重点試験研究とし、また、関係機関等と連携し緊急に取り組む試験研究をプロジェクト試験研究として計画的に取り組みます。

また、研究成果を早期に漁業生産現場で実用化するために、漁業者や普及指導員と一体となった試験研究を進めます。

(2) 研究開発機能の充実・強化

県民に支持され、漁業者の役に立つ研究を推進するため、①情報の収集と発信、②法人経営体及び漁業後継者の育成、③県内外の研究機関との連携強化、④外部資金の調達、⑤効率的な研究評価の実施、⑥研究成果の早期実用化と普及、⑦研究職員の資質の向上、⑧調査・研究施設等の充実・強化に努めます。